

社 内 ニ ュ ー ス TOPICS

白煙低減技術を供与 伊社へ冷却塔向けに

Shinko Pantec granted to SPIG International Co. (Italy) the license on the technology of plume abatement of cooling towers.

神鋼パンテックは、イタリアの冷却塔メーカー、スピーグ・インターナショナル社（社長・アントニー・モゼビッチ氏、ミラノ市）に、冷却塔から排出される白煙（可視ブルーム）低減に関する技術を供与する契約を結んだ。

契約内容は、乾湿併用型冷却塔の設計に必要な白煙長さの予測、白煙低減に必要な空気加熱器の選定手法のほか、熱量計算に必要な技術資料の供与など。契約期間は5年間。神鋼パンテックは販売価格の3%をロイヤリティーとして受け取る。

冷却塔から排出される白煙自体は無害だが、日照、視覚などの障害や地面や構築物の凍結などの問題を起こす場合もある。これを解消するため、神鋼パンテックは外気を空気加熱器で加熱し、冷却塔に送り込み湿度を下げる乾湿併用型冷却塔を独自に開発している。

スピーグ社は大手の冷却塔メーカー。93年の売上高は約20億円。（94.6.6 日本工業新聞）

白煙対策付き大型冷却塔 韓国電力公社に納入

Shinko Pantec delivered large cooling towers equipped with plume abatement device to Korea Electric Power Corporation.

神鋼パンテックは、韓国電力公社の一山（イルサン）発電プラントと富川（プーチョン）発電プラントに白煙対策付き大型冷却塔を各1基、納入したと21日発表した。納入額は2基で10億円。冬季に冷却塔から発生する白煙を低減するための乾式部を装備した乾湿併用型冷却塔で、発電プ

ラント用としては最大規模。プラントがソウル市近郊にあるため、白煙による日照障害などを起こさないよう環境保全対策の必要があった。

両プラントは燃料に液化天然ガス（LNG）とオイルを使用したガスタービンによる熱併給型コンバインドサイクルで、ソウル市や近隣に建設中の新興住宅地へ電力と地域暖房用の熱供給を行う。発電量と熱供給量は一山プラントが63万キロワット・4億8千万キロカロリー、富川プラント47万キロワット・3億6千万キロカロリー。

神鋼パンテックは1962年に産業用冷却塔の販売を開始、計5千基の冷却塔を国内外に納入している。今後はタイ、インドネシアなど東南アジアや中近東に受注を拡大したいとしている。（94.7.22 日刊工業新聞）

もろみ製造の新装置

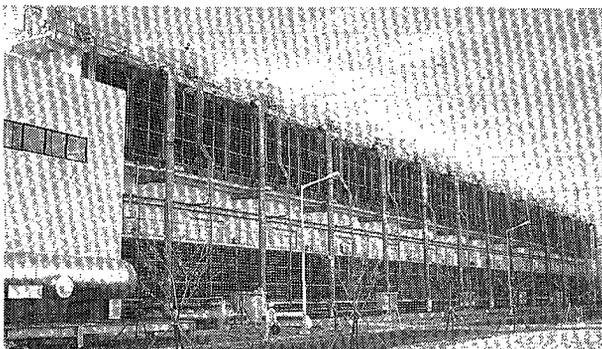
フルゾーン翼を用いた清酒用液化装置を開発

Shinko Pantec has developed a new automatic liquefying equipment with a FULLZONE impeller for sake brewing industry.

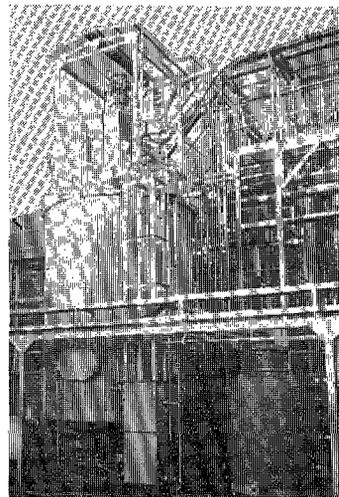
神鋼パンテックはこのほど、清酒醸造の第一段階であるもろみ製造のための液化装置を開発、販売を始めた。

この装置は、ステンレス製のタンクに米と水を入れ、同社が開発したフルゾーン攪拌翼でかき回しながらスチーム熱で加熱しながら酵素でコメを溶かしもろみを製造する。フルゾーン攪拌翼は、2枚の翼を90度ずらして軸に取り付けたもので、均一な混合が実現できるといい、米粒を破壊することなくでんぷんを糖質に変換できるという。

同社は、この装置を使用することにより、省力化などで20～30%のコストダウンを図れるとしている。コメ7トン処理型で6千万円、初年度3億円の売り上げを目指している。（94.8.2 毎日新聞）



白煙低減対策を施した乾湿併用形冷却塔
Wet-dry cooling towers equipped with plume abatement device



ST液化装置
23 Kℓ ST Liquefying
Equipment